

運動やスポーツに関する市民アンケート結果について

障がい者の回答率比較

1. はじめに

運動やスポーツを活用した健康寿命の延伸のための第3期宗像市スポーツ推進計画の作成参考資料として、市民協働部文化スポーツ課が市民の意識アンケート調査を行いました。

2月実施のアンケート分析結果は「運動やスポーツに関する市民アンケート結果について～性別・年代グループ別の回答率比較～」で報告しました。今回は、同一のアンケートを障がい者を対象に行った結果について、障がいの有無の群間で比率の比較を分析しましたので報告します。

2. 方法

2024年3月25日から4月30日までの37日間、障がい者対象者2,000人に対し行い、回答232人、回答率は11.6%でした。統計分析のために、18・19歳と20歳代と30歳代を青年（70人）、40歳代と50歳代を中年（92人）、60歳以上を高年（49人）の3グループに分けました。

統計分析の対象者は、性別・年代・地区をすべて回答している211人としました。

性別年代グループ別の人数を表1に示しました。

表1 性別年代グループ別回答者数

障がい		青年	中年	高年	計
あり	女性	34	44	22	100
	男性	36	48	27	111
	計	70	92	49	211
なし	女性	129	151	111	391
	男性	75	109	150	334
	計	204	260	261	725

市の性別・年代グループの人数は、市のオープンデータサイトから宗像市人口統計（公称町・大字等別）（福岡都市圏共通フォーマット）最終更新2021年5月10日を使用し、人口統計の高年グループ区分は60歳以上80歳未満としました。

性別と年代グループの人数適合度の検定は、Excel関数CHISQ.TESTを使用しました。

群間の比率比較はEZR¹⁾を使用し、分割表の作成と群間比率の比較(Fisherの正確検定)を行いました。EZRはRおよびRコマンドの機能を拡張した統計ソフトウェア²⁾（無料）です。

有意水準は5%としました。5%未満のP値は表内に赤字、0.001よりも小さい場合も0.001と示しています。

3. 結果

障がい者アンケート回答数と市人口統計との適合性検定を行いました。性別適合検定のカイ二乗P値は0.171で、障がい者アンケートの男女分布と市統計の男女分布との間には有意な差は認められませんでした（表2）。

表2 障がい者アンケートと市統計の男女人数

実測	男性	女性	計
障がい者アンケート	111	100	211
市統計	46,511	50,602	97,113
計	46,622	50,702	97,324

年代グループの適合検定のカイ二乗P値は0.0076で障がい者アンケートの年代グループ分布と市統計の年代グループ分布との間には有意な差が認められました（表3）。

表3 障がい者アンケートと市統計の年代グループ人数

実測	青年	中年	高年	計
障がい者アンケート	65	92	49	206
市統計	19,844	24,004	22,074	65,922
計	19,909	24,096	22,123	66,128

障がい有無と性別の分割表と群間比率の比較を表4に示しました。有意な差は認められませんでした。

表4 性別比率の比較

	障がいあり	障がいなし
女性	47.4	53.9
男性	52.6	46.1
P=0.1003		

障がい有無と地区の分割表と群間比率の比較を表5に示しました。有意な差が認められました。

表5 地区別比率の比較

	障がいあり	障がいなし
玄海	12.3	7.3
宗像	87.7	92.7
P=0.0246		

障がい有無と年代グループの分割表と群間比率の比較を表6に示しました。有意な差が認められました。

表6 年代グループ別比率の比較

	障がいあり	障がいなし
青年	33.2	28.1
中年	43.3	35.9
高年	23.2	36.0
P=0.0018		

障がい有無と1回30分以上の運動やスポーツ（散歩・ウォーキングを含む）をどのくらいの頻度で行なっているかの分割表と群間比率の比較を表7に示しました。有意な差は認められませんでした。

表7 30分以上運動頻度の比率比較

	障がいあり	障がいなし
1回未満	10.9	13.2
1日以上	44.1	46.5
していない	41.7	37.8
なし	0.5	0.1
無回答	2.8	2.3
P=0.511		

障がい有無と1回30分以上の運動やスポーツを週何日行っているかの分割表と群間比率の比較を表8に示しました。有意な差は認められませんでした。

表8 週頻度の比率比較

	障がいあり	障がいなし
1日	6.2	5.8
2日	10.4	10.2
3日	9.5	9.5
4日	5.2	6.1
5日	5.2	6.9
6日	2.4	2.8
7日	5.2	6.1
なし	55.5	51.0
無回答	0.5	1.5
NULL カイ二乗 P=0.917		

障がい有無とどのくらい継続して行っているかの分割表と群間比率の比較を表9に示しました。有意な差は認められませんでした。

表9 継続の比率比較

	障がいあり	障がいなし
1年未満	3.3	2.8
1年以上	6.6	15.2
なし	88.6	80.4
無回答	1.4	1.7
P= 0.0074		

障がい有無と運動・スポーツの経験や興味があるかの群間比率の比較と今後始めたい興味があると回答した率を表10に示しました。

有意な差が認められた種目は、バスケットボール、ヨガ・エアビ、スキー等、モックでした。

障がいありで今後始めたい興味があると回答した率が3%以上の種目は、ウォーキング、マラソン等、水泳、卓球、自転車等、登山でした。

表10 各種目のP値と今後始めたい興味がある率

種目	P値	障がいあり	障がいなし
陸上競技	0.053	1.4	1.7
ウォーキング	Null	8.9	13.8
マラソン等	0.494	5.3	6.2
野球	0.463	2.8	2.5

サッカー	0.584	1.8	1.4
テニス	0.131	2.3	4.5
バウンドテニス	0.756	0.9	1.9
バスケケットボール	0.049	1.9	<u>2.4</u>
バレーボール	0.205	1.8	2.9
水泳	0.352	3.7	6.1
ラグビー	0.072	1.4	1.9
アメフト	0.231	0.5	1.4
卓球	0.722	3.3	4.0
バドミントン	0.137	1.9	6.5
ハンドボール	0.793	0.5	1.8
ドッジボール	0.838	0.9	1.4
柔道	0.743	0.5	1.4
剣道	0.088	0.5	1.1
空手	0.140	0.5	1.8
弓道	0.417	2.4	3.2
アーチェリー	0.377	0.5	1.8
レスリング等	0.459	0.9	1.1
フェンシング	0.318	0.5	1.0
なぎなた等	0.214	1.4	2.9
テコンドー等	0.295	0.9	2.8
体操・新体操	0.093	0.5	1.9
ダンス	0.073	1.9	6.8
ボクシング等	0.661	1.9	3.0
ゴルフ	0.237	0.9	3.6
ゲートボール	0.757	0.5	1.0
グラウンドゴルフ	0.193	0.5	2.8
ウエイトリフティング	0.071	0.5	1.0
自転車等	0.400	4.3	6.1
ボウリング	0.526	1.9	4.5
乗馬	0.259	2.4	5.2
マリンスポーツ	0.062	0.9	4.3
ヨガ・エアロビ	0.020	2.8	<u>9.7</u>
ホッケー	0.349	0.5	1.0
アイススケート等	0.249	0.5	1.8
スキー等	0.027	0.5	<u>3.9</u>
スケートボード	0.207	0.5	2.1
登山	0.413	4.2	6.3
クライミング	0.419	1.9	3.0

ボウチヤ	0.239	1.4	1.7
モルック	0.021	0.5	<u>2.7</u>
釣り	0.289	1.9	5.5

障がい有無と運動やスポーツを行う理由の群間比率の比較を表11に示しました。有意な差が認められた理由で、「楽しみ・気晴らし」で障がいなしが大きく、「心身の修行・鍛錬」で障がいありが大きい結果でした。

障がいありで理由が50%以上の項目は、「健康・体力づくり」「楽しみ・気晴らし」「運動不足解消」でした。

表11 障がい有無と行なう理由選択率

理由	あり	なし	P値
健康・体力づくり	69.2	74.3	0.158
楽しみ・気晴らし	52.1	<u>61.1</u>	0.021
家族のふれあい	6.2	9.9	0.103
友人・仲間との交流	25.1	29.7	0.226
運動不足解消	52.1	54.5	0.583
競技で勝ち負けを競う	3.8	4.6	0.707
競技で記録に挑戦	1.4	2.9	0.324
美容・ダイエット	27.0	22.9	0.233
心身の修行・鍛錬	<u>12.8</u>	8.1	0.043
地域での交流	7.6	5.7	0.326

障がい有無と運動やスポーツを行う(始める)ことができる条件の選択率の群間比率の比較を表12に示しました。

有意な差が認められ障がいありが大きかった項目は、「生活費に余裕」「公共施設が優先的」「指導者が身近に」でした。

表12 障がい有無と条件選択率

条件	あり	なし	P値
勤務時間が短く	16.1	<u>23.0</u>	0.036
休暇が増えれば	26.1	32.4	0.091
費用が安くなれば	28.9	33.1	0.277
生活費に余裕	<u>34.6</u>	26.6	0.030
近くに施設が整備	31.3	36.8	0.142
職場の環境が充実	7.6	5.4	0.245
託児機能が整う	2.8	5.2	0.195
公共施設が優先的	<u>10.9</u>	5.4	0.007
屋根付きの屋外施設	14.2	16.8	0.398

家事育児が軽減	11.4	13.4	0.486
指導者が身近に	18.0	10.3	0.004
一緒に活動する仲間	27.0	26.2	0.859
家族の理解	8.1	5.7	0.198
多種多様な環境	16.1	15.6	0.831
気軽に参加できる	24.2	23.0	0.781

障がい有無と運動やスポーツをおこなう環境についての満足選択率の群間比率の比較を表 13 に示しました。有意な差は認められませんでした。

表 13 障がい有無と環境について満足率

種目	あり	なし	P 値
実施する環境	21.8	25.1	0.353
学べる環境	14.2	12.6	0.287
楽しめる環境	20.9	16.6	0.124

障がい有無と日頃どのような場所で運動やスポーツを行っているかの選択率の群間比率の比較を表 14 に示しました。

有意な差が認められたのは、「市外のスポーツ施設」「最寄りの公園、広場など」「登山道など」でした。

表 14 障がい有無とどのような場所での回答率

場所	あり	なし	P 値
市内公共スポーツ施設	18.0	13.8	0.151
市内学校の運動場など	5.2	4.1	0.566
市内の公共施設	6.6	8.3	0.562
市内民間スポーツ施設	6.6	10.5	0.111
市外のスポーツ施設	3.8	8.1	0.033
最寄りの公園、広場など	27.5	40.6	0.001
登山道など	3.8	9.4	0.009
自宅	26.1	25.1	0.788

障がい有無と過去 2 年間でどのスポーツ施設を使用したことがあるかの選択率の群間比率の比較を表 15 に示しました。有意な差が認められたのは、「勤労者体育センター」「宗像ユリックス」「ふれあいの森総合公園」でした。

表 15 障がい有無と過去 2 年間の使用施設回答率

施設	あり	なし	P 値
市民体育館	7.6	10.6	0.239
勤労者体育センター	4.7	2.1	0.049
玄海 B.G 海洋センター	5.7	3.3	0.152
小中学校の運動場など	5.7	7.2	0.536
宗像ユリックス	19.9	32.1	0.001
アクアドーム	12.8	9.1	0.118
ふれあいの森総合公園	10.0	17.9	0.006
宗像中央公園	2.4	3.4	0.513
明天寺公園	3.8	3.0	0.656
自由ヶ丘第 11 号公園	3.8	3.4	0.832
日の里第 4.7.11 号公園	1.4	1.8	1.000
宗像市弓道場	0.9	0.4	0.315
終末処理場グラウンド	0.5	1.1	0.693
グローバルアリーナ	5.7	8.6	0.194

障がい有無と使用したくない理由の選択率の群間比率の比較を表 16 に示しました。すべての理由で有意な差は認められませんでした。

表 16 障がい有無と使用したくない理由回答率

理由	あり	なし	P 値
行える環境がない	6.2	6.3	1.000
家や職場から遠い	9.0	8.0	0.669
求める設備がない	0.9	0.6	0.622
駐車場が足りない狭い	0	0.3	1.000
施設の使用料が高い	3.8	3.4	0.832
手続きが困難	1.9	1.4	0.531
利用時間が合わない	4.7	7.0	0.270
利用方法がわからない	10.0	8.1	0.403
指導者がいない	0.9	0.8	1.000
仲間がいない	7.1	8.7	0.571
施設が古い	0	0.6	0.580
トイレが使用しづらい	0.5	0.3	0.536
自動販売機がない	0	0	NULL
夜間照明がない	0	0.1	1.000
同じ人が使用している	0.5	0.8	1.000
空いていない	0	0.3	1.000

障がい有無とスポーツ施設にとって重要だと思う項目の選択率の群間比率の比較を表17に示しました。有意な差が認められ障がいがありが大きかった項目は「体力向上をメイン」「健康づくり指導」「雑談休息ができる空間」でした。

表17 障がい有無と重要だと思うもの回答率

重要	あり	なし	P 値
交通の便が良い	55.0	47.7	0.072
施設設備が整っている	51.7	55.6	0.346
規模に適した駐車場	40.3	46.8	0.099
使用料が適切である	50.2	50.9	0.876
申し込み手続きが簡単	36.0	36.0	1.000
施設の支払手続きが簡単	23.7	22.1	0.639
教室等の内容の充実度	18.0	20.8	0.436
新しい知識や情報	12.8	9.5	0.197
活動場所の把握	9.5	9.8	1.000
体力向上をメイン	19.4	11.4	0.004
技術的な指導	10.9	10.5	0.899
健康づくり指導	24.6	17.4	0.022
知り合いができる	15.2	10.6	0.087
雑談休息ができる空間	21.8	15.9	0.049
時間帯が自分に合う	26.5	32.3	0.128
職員の対応	23.2	19.7	0.287

障がい有無とどのような運動やスポーツの情報が欲しいかの選択率の群間比率の比較を表18に示しました。

有意な差は認められませんでした。

表18 障がい有無と欲しい情報回答率

情報	あり	なし	P 値
各教室の案内	24.2	29.2	0.164
市内イベント情報	23.7	28.7	0.162
市外イベント情報	9.5	8.1	0.573
クラブなどの活動案内	4.3	3.6	0.680
スポーツ施設の案内	18.0	22.2	0.214
新しい気軽の情報	27.5	26.9	0.861

障がい有無と情報をどのような方法で手に入れているかの選択率の群間比率の比較を表19に示しました。

有意な差が認められ障がいがありが大きかった項目は「市スポーツ協会のHP」でした。

表19 障がい有無と情報収集回答率

情報	あり	なし	P 値
市の広報紙	42.2	50.2	0.042
市の公式LINE	13.3	14.2	0.822
市の公式Facebook	1.4	1.5	1.000
市の公式Instagram	2.8	2.5	0.805
市の公式X	2.8	1.0	0.086
市の公式ホームページ	11.4	10.8	0.802
市スポーツセンター HP	0.9	1.1	1.000
市スポーツ協会のHP	2.8	0.8	0.033
テレビケーブルテレビ	4.3	4.6	1.000
新聞雑誌	4.7	7.6	0.168
チラシポスター	12.3	17.9	0.059
所属団体やクラブから	4.3	3.6	0.680
知り合いの口コミ	14.7	16.1	0.669

障がい有無と名称、取り組み内容を両方知らないの選択率の群間比率の比較を表20に示しました。

「両方知らない」が、障がい有無ともに40%を超えているのは、市スポーツセンター、市スポーツ協会、南の郷クラブでした。

表20 障がい有無と両方知らない回答率

施設	あり	なし	P 値
アクアドーム	11.8	14.0	NULL
グローバルアリーナ	10.0	8.2	0.001
市スポーツセンター	48.3	59.5	0.003
市スポーツ協会	47.9	50.8	0.632
宗像ユリックス	7.1	6.8	0.001
南の郷クラブ	53.1	57.1	0.790

障がい有無と子どもが運動やスポーツを始めるのに重要なきっかけの選択率の群間比率の比較を表21に示しました。

有意な差は認められませんでした。

表 2 1 障がい有無と子どもきっかけ回答率

きっかけ	あり	なし	P 値
幼児時期から外で遊ぶ	59.7	60.6	0.873
保育園幼稚園	44.5	47.3	0.531
小学校放課後の活動	39.8	45.7	0.136
公共スポーツ施設実施	25.1	25.4	1.000
中学校放課後の活動	28.9	30.3	0.733
トップスポーツ選手と	28.4	22.9	0.101
子どものための情報	18.0	20.3	0.493
初めて気軽に参加	38.4	36.7	0.686

障がい有無と 3 人以上の団体で活動しているかの選択率の群間比率の比較を表 2 2 に示しました。あるなし共に有意な性差は認められませんでした。

表 2 2 障がい有無と 3 人以上活動回答率

活動	あり	なし	P 値
団体活動あり	15.2	12.3	0.294
団体活動なし	74.4	75.9	0.651

障がい有無とはじめるうえで何を重視するかの選択率の群間比率の比較を表 2 3 に示しました。

有意な差が認められたのは「競技を体験する機会」「身体的特性を知る機会」でした。

表 2 3 障がい有無とはじめるうえで重視回答率

重視	あり	なし	P 値
毎月の月謝などの金額	58.8	66.1	0.060
教室の回数や時間帯	45.5	51.6	0.137
送迎距離、必要の有無	43.6	48.8	0.184
指導者の指導のレベル	31.3	31.3	1.000
競技を体験する機会	22.7	16.1	0.031
身体的特性を知る機会	21.8	15.0	0.027
教室の会員数	6.6	4.3	0.199
スキル目的に合った教室	36.0	34.3	0.681

障がい有無とはじめるうえで困っていることを選択率の群間比率の比較を表 2 4 に示しました。

有意な差は認められませんでした。

表 2 4 障がい有無と困っていること回答率

困っていること	あり	なし	P 値
教室がどこで実施	28.0	30.2	0.550
やりたい教室がない	13.3	11.0	0.392
設備が整っていない	8.5	5.2	0.097

障がい有無とどの程度スポーツ観戦をしているかの選択率の群間比率の比較を表 2 5 に示しました。

有意な差は認められませんでした。

表 2 5 障がい有無とスポーツ観戦なし回答率

観戦頻度	あり	なし	P 値
なし	6.2	7.6	NULL

障がい有無とどの程度スポーツ観戦をしているかの選択率の群間比率の比較を表 2 6 に示しました。

「観戦したことがない」で障がいの有無に有意な差が認められました。

表 2 6 障がい有無と市内観戦なし回答率

市内観戦	あり	なし	P 値
観戦したことがない	7.1	20.4	0.001

障がい有無と市内でスポーツ観戦しない理由の選択率の選択率の群間比率の比較を表 2 7 に示しました。

「客席駐車場が足りない」以外、有意な差を認めました。

表 2 7 障がい有無と市内観戦しない理由回答率

観戦しない理由	あり	なし	P 値
いつどこかわからない	3.8	15.3	0.001
競技種目がない	1.9	12.9	0.001
高レベルの試合がない	2.4	7.6	0.004
客席駐車場が足りない	0.5	2.2	0.141
時間日程が合わない	1.4	7.9	0.001

障がい有無とどのような取り組みがあると来場したいとしますかの選択率の選択率の群間比率の比較を表 2 8 に示しました。

障がいなしで「子ども向け」「飲食・キッチンカー」で有意な差が認められました。

表28 障がい有無とイベント取り組み回答率

イベント取り組み	あり	なし	P 値
子ども向け	14.2	21.5	0.019
ルールの分かる	22.3	22.1	0.925
競技を体験	17.1	20.2	0.325
チームや選手を紹介	14.7	17.8	0.349
文化を体験	19.9	16.1	0.211
飲食・キッチンカー	10.0	22.9	0.001

障がい有無と無料の貸し出しサービスがあることを知っているかの選択率の群間比率の比較を表29に示しました。

有意な差は認められませんでした。

表29 障がい有無と貸出サービス知らない回答率

貸出サービス	あり	なし	P 値
知らない	81.0	80.3	0.381

障がい有無と無料の貸し出しサービスを利用したことがない理由の選択率の群間比率の比較を表30に示しました。

有意な差は認められませんでした。

表30 障がい有無と利用したことがない理由回答率

利用なし理由	あり	なし	P 値
使用方法がわからない	1.4	2.5	0.440
場所がわからない	1.4	1.7	1.000
借用方法がわからない	3.8	3.3	0.673
平日の日中のみのため	0	1.7	0.079
思う備品がない	1.9	5.1	0.054

障がい有無と利用したい貸し出しサービスの選択率の選択率の群間比率の比較を表31に示しました。

「テニス」「バスケットボール」で、有意な差が認められました。

表31 障がい有無と利用したい貸出サービス回答率

利用したい	あり	なし	P 値
野球	13.7	13.0	0.817
サッカー	8.1	7.3	0.766
テニス	14.2	22.8	0.007
バスケットボール	5.7	10.6	0.033
バレーボール	7.6	8.7	0.675

バドミントン	22.7	29.1	0.080
卓球	20.4	20.0	0.922
柔道衣・剣道衣など	2.8	1.1	0.099
トッヅボール	3.3	5.9	0.165
縄跳び	3.8	4.4	0.847
グラウンドゴルフ	6.2	8.8	0.255
ボッチャ	6.6	4.1	0.140
モルック	3.3	4.7	0.451

4. 考察

「障がいあり」では、「障がいなし」に比べ玄海地区の比率が大きく、また、中年が大きく、高年が小さい結果でした。

30分以上の運動頻度や週頻度には有意差が認められませんでした。継続なしが大きい結果でした。運動を実践していない障がい者への介入が必要であることが示唆されました。

質問を「経験（問8）」「理由（問9～10）」「環境・施設（問11～19）」「情報（問20～22）」「子ども（問23～26）」「観戦（問27～30）」「貸出（問31～33）」に分け、「障がいあり」の回答率の検討を行いました。

「経験」において、今後始めたい興味がある種目で3%以上あったのは、ウォーキング、マラソン等、水泳、卓球、自転車等、登山で、個人スポーツが主でした。

「理由」において、運動やスポーツを行う理由は、心身の修行・鍛錬が大きく、とらえ方が異なることが示唆されました。運動やスポーツを行う（始める）ことができる条件では、金銭的な面だけでなく、指導者が身近にいてほしいと感じていることが示唆されました。

「環境・施設」において、施設を使用したくない理由では有意差は認められず、重要と思っていることでは、健康づくりや体力向上と雑談休息ができる空間が大きく、健康増進体力づくりへの意識が高いことがうかがえます。

「情報」において、欲しい情報では有意差はなく、情報収集では市スポーツ協会のHPが有意に大きく、他の情報発信方法で障がい者への情報提供が少ないことが窺えます。また、半数近くが施設の名称、取り組み内容を両方知らないと回答された、市スポーツ協会のHP・市スポーツ協会・南の郷クラブについては、実施内容の積極的な広報活動が望まれます。

「子ども」において、運動やスポーツを行う（始める）うえで重視していることでは、競技を体験する機会、身体的特

性を知る機会など、きっかけ作りのプログラムを検討する必要があると思われます。

「観戦」において、市内でスポーツ観戦しない理由の回答率が小さいことは、関心の無さを表していると思われます。

「貸出」において、貸出サービスを知らないの回答率が障がいの有無に関係なく80%を超えていることは、周知の方法を再検討する必要があることを示唆しています。

5. まとめ

第3期宗像市スポーツ推進計画の作成参考資料として、市民協働部文化スポーツ課が2024年4月に障がい者を対象に、2月に行った市民の意識アンケートと同じ調査を行いました。

2月のアンケート結果と今回の障がい者対象のアンケート結果において、障がいの有無で回答率に統計的な有意差があるか検討しました。

今後始めたい興味がある種目は個人スポーツであり、心身の修行・鍛錬を感じることが出来き、身近に指導者が寄り添うプログラムを検討することが望まれます。

市が実施しているスポーツ推進内容や貸出サービスについて、積極的に広報を行って、周知に力を注ぐことも重要と考えられます。

競技を体験する機会、身体的特性を知る機会など、きっかけ作りのイベントを少規模でも数多く行い参加機会を多くすることもよいと思われます。

どのような運動・スポーツでも本人が実践することで、スポーツ観戦への関心は増えると思われます。

以上

2024年6月30日

スポーツ推進審議委員：末永

<参考資料>

- 1) Kanda Y. Investigation of the freely available easy-to-use software 'EZRR' for medical statistics. Bone Marrow Transplant.2013;48:452-8.
- 2) <https://www.jichi.ac.jp/saitama-sct/SaitamaHP.files/download.html>